

標 題 : 衛生医療評議会監修・前浦穂高著
「コロナ禍の教訓をいかに生かすのか -医療従事者の働き方の変化から考える」刊行について

発信番号 : 自治労情報2023第0153号
発信日付 : 2023年8月23日
宛先(団体) :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者(団体): 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 川本 淳

連日のご健闘に心より敬意を表します。

さて、衛生医療評議会では、新型コロナウイルス感染症の流行が、医療・保健、救急現場で働く職員へ与えた影響を明らかにすることを目的に、2021年から1年半にわたり、JILPT・前浦穂高副主任研究員とともに「コロナ禍における医療従事者の就労実態調査」を実施してまいりました。

この度、本調査の研究結果が、株式会社ぎょうせいより書籍として出版されました。刊行にあたり、各県本部へ1冊献本いたします。あわせて、全国の自治体立図書館、大学図書館に寄贈いたしましたことをご報告いたします。

本調査においては、衛生医療評議会および全国消防職員協議会の協力のもと、看護師、保健師、救急救命士ら総勢24人へのインタビューを実施しております。インタビューを通して、コロナ禍における就労実態や就業環境の変化、極限状態の中で仕事に向き合う支えとなった要因に迫るとともに、今後の地域医療および保健体制のあり方について展望を示しています。

書籍の刊行にあたって、監修をつとめました衛生医療評議会・平山春樹事務局長が寄稿しております。

ご購入を希望される方は、添付の注文書にて出版元「株式会社ぎょうせい」まで直接お申込みください(本部での集約はいたしません)。また、函館大会の会場では、自治労出版センターの物販ブースにて現物をお手にとってお買い求めいただけます。

自治労限定特典として、9月25日までのご注文に限り、特別価格でご提供いただけることとなりましたので、各県本部・単組での積極的なご購読をお願いいたします。

末筆となりますが、本調査にご協力くださいました、県本部・組合員の皆さまにこの場をかりてお礼申し上げます。

記

書籍名:「コロナ禍の教訓をいかに生かすのか-医療従事者の働き方の変化から考える」

出版元:株式会社ぎょうせい

著 者:(独)労働政策研究・研修機構 副主任研究員 前浦穂高

監 修:自治労本部 衛生医療評議会

定 価:2,100円+税(9月25日まで、添付のチラシでの注文に限り1割引・2冊以上送料無料でご購入いただけます)

注文先:株式会社ぎょうせい 東京支社・長尾祐子宛 FAX:0120-802-485

本件に関するお問い合わせは、自治労本部・衛生医療評議会(担当:平山・前田)
TEL:03-3263-0622 maeda@jichiro.gr.jp まで。

添付ファイル :
コロナ教訓_宣伝用パンフレット_自治労の県本部・単組.pdf